

一般社団法人日本アレルギー学会
2018年度 事業報告書
(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

I. 会員の異動状況

1) 正会員

2018年3月31日現在	11,469名
2019年3月31日現在	11,729名
増減数	260名 (増)

内訳	新入会員	623名
	除退会員	354名
	物故会員	9名

役員(理事・監事)、代議員

2018年3月31日現在	理事20名	監事2名	代議員350名
2019年3月31日現在	理事20名	監事2名	代議員349名
増減数	0名	0名	1名 (減)

2) 名誉会員	2018年3月31日現在	37名	(内 国際名誉会員 2名)
	2019年3月31日現在	40名	(内 国際名誉会員 1名)
	増減数	3名	(増)

3) 賛助会員	2018年3月31日現在	30社	
	2019年3月31日現在	27社	
	増減数	3社	(減)

II. 事業の状況

1. 学術大会、講演会等の開催(定款 第5条 第1号)

1) 第67回日本アレルギー学会学術大会

会期: 2018年6月22日(金)、23日(土)、24日(日)

会場: 幕張メッセ、ホテルニューオータニ幕張(千葉)

参加者数: 5,852名

特別演題: 103題(会長講演、特別講演1、招請講演17、教育講演21、シンポジウム18、会長企画3、
メディカルパートナーのための講座4、教育セミナー27、イブニングシンポジウム7、
JSA-WAOシンポジウム3、JSA-EAACIシンポジウム、Meet the professors、
医師支援セミナー)

一般演題: 610題(ミニシンポジウム 298題、ポスター 312演題)

English Session: 61題(Oral 52題、Poster 9題)

(アレルギー67巻4・5号に抄録掲載)

2) 第5回総合アレルギー講習会

会期: 2018年12月15日(土)、16日(日)

会場: 大阪国際会議場(大阪)

参加者数: 2,180名(会員1,870名、非会員310名)

講義数: 58(講義27、教育セミナー12、イブニングシンポジウム6、実習13)

3) 第1回臨床アレルギー講習会

会期: 2018年9月2日(日)

会場: メイン会場 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター

サテライト会場 TKP 仙台カンファレンスセンター

TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター

TKP 大阪難波カンファレンスセンター

TKP 博多駅前シティセンター

受講者数：944名（会員519名、非会員425名）

講義数：12（講義6、実技指導（ビデオ）6）

4) 地方会

全国8支部（北海道、東北、関東、北陸、東海、近畿、中国・四国、九州・沖縄）を設置した。

【地方会の実施】

○第1回東北地方会

会長：一ノ瀬 正和（東北大学大学院医学系研究科呼吸器内科学分野）

日時：2019年2月23日（土）

会場：TKPガーデンシティ仙台 ホール21A・B

○第1回関東地方会

会長：永田 真（埼玉医科大学呼吸器内科）

日時：2019年3月16日（土）

場所：秋葉原コンベンションホール

○第1回東海地方会

会長：堀口 高彦（藤田医科大学医学部呼吸器内科学Ⅱ講座）

日時：2019年3月24日（日）

場所：名古屋国際センター 別棟ホール

○第1回近畿地方会

会長：朝子 幹也（関西医科大学総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

日時：2019年3月9日（土）

場所：TKPガーデンシティ大阪淀屋橋

○第1回中国・四国地方会

会長：秀 道広（広島大学皮膚科）

日時：2019年2月2日（土）

会場：広島コンベンションホール

○第1回九州・沖縄地方会

会長：古江 増隆（九州大学医学研究院皮膚科学）

日時：2019年2月16日（土）

場所：共創館みらいホール 3階 カンファランスA

2. 学会誌、ガイドライン、その他の刊行物の発行（定款 第5条 第2号）

1) 和文誌「アレルギー」 67巻3号～10号（4・5号は合併号）、68巻1～2号 年9回発行

発行日 67巻3～10号（5、7、8、9、11、12月各1日）4・5合併号（5月15日）、68巻1～2号（2、3月毎月1日）

発行部数 67巻4・5号（合併号）冊子 約12,150部 及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載

67巻3号～68巻2号（通常号）冊子 約11,500部 及びJ-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載、また、電子書籍KaLibに掲載

2) 英文誌「Allergology International」 67巻2号～68巻1号 年4回発行

発行日 2018年4月、7月、10月、2019年1月 Supplement2018年9月

オンラインジャーナルと冊子体。Supplementはオンラインのみ

発行部数 冊子体1,500部を発刊、希望者のみ配本

エルゼビアのScience Direct及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載

3. 専門医、指導医、教育研修施設等の認定（定款 第5条 第3号）

1) 平成31年度 専門医の認定

申請者 283名

2018年12月12日 資格審査委員会にて書類審査 283名を受験有資格者と判定

2019年1月27日 試験実施 受験者278名 欠席5名

2019年2月28日 資格判定会議（専門医制度関連合同委員会）※以下同
試験合格者254名を新たに専門医として認定（合格率 91.37% 平均79.08点）

- 2) 平成30年度 指導医の認定
申請者21名について、資格審査委員会にて随時審査 21名を新たに指導医として認定
平成31年度 指導医の認定
専門医更新時期にあわせ指導医申請した11名について、資格審査委員会にて審査 11名を新たに指導医として認定
- 3) 平成30年度 教育研修施設の認定
教育研修施設への申請52科、準教育研修施設への申請23科について、資格審査委員会にて随時審査
教育研修施設 52科、準教育研修施設23科を新たに認定
- 4) 平成31年度 専門医の更新認定
申請者528名 資格判定会議にて528名の更新を認定
- 5) 平成31年度 指導医の更新認定
申請者92名 資格判定会議にて92名の更新を認定
- 6) 平成31年度 認定医の更新認定
申請者2名 資格判定会議にて2名の更新を認定
- 7) 平成31年度 教育研修施設の更新認定
教育研修施設の申請54科 資格判定会議にて54科の更新を認定
準教育研修施設の申請12科 資格判定会議にて12科の更新を認定

4. 研修及び教育の実施（定款 第5条 第4号）

- (1) 専門医教育セミナー
 - 1) 第53回 2018年6月24日 於 幕張メッセ 参加者317名
 - 2) 第54回 2018年10月28日 於 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター 参加者399名
- (2) 専門医制度集中研修（第12回相模原臨床アレルギーセミナー：共催）
2018年8月3日～5日 於 パシフィコ横浜アネックスホール 全日参加者233名

5. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款 第5条 第5号）

- 1) 2018年度海外研究留学助成金
学会誌および学会ホームページにて公募、応募者3名について選考、下記3名に決定した。
〔受賞者〕（五十音順、所属は応募受付時）
扇 和弘（福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
小野慧美（大阪大学医学部附属病院皮膚科）
溜 雅人（東京慈恵会医科大学附属病院小児科）
- 2) 2018年度（第15回）日本アレルギー学会学術大会賞
2018年度本学会学術大会（第67回学術大会）で発表された研究業績を対象として学会誌および学会ホームページにおいて公募、応募者9名について選考、下記5名に決定した。
〔受賞者〕（五十音順）
鈴木 康仁（福島県立医科大学呼吸器内科）
「気管支喘息において喀痰/血清硫化水素比(H₂S ratio)は増悪予測指標となりうる」
平井 啓太（静岡県立大学薬学部臨床薬効解析学分野）
「喘息患者における増悪発現と NOS2 遺伝子多型との関連」
三田村康貴（佐賀大学医学部分子生命科学講座分子医化学分野）
「IL-13/ペリオスチン/IL-24 経路による アトピー性皮膚炎における表皮バリア破壊機構」
宮田 純（防衛医科大学校 内科学講座（感染症・呼吸器））
「ヒト好酸球のマルチオミクス解析で紐解く、好酸球性副鼻腔炎・重症喘息の分子機序」
森脇 昌哉（広島大学大学院医歯薬保健学研究院 統合健康科学部門皮膚科学）
「Staphylococcus aureus isolated from atopic dermatitis skin accumulates in lysosome with inducing IL-1 α via TLR9 in keratinocytes」

3) 2018 年度臨床研究支援プログラム

学会員が行う臨床研究の推進や将来の研究のスタートアッププログラムとしての支援のために設置された。2018 年度は、新規応募への応募者 17 件の内 4 件、継続応募への応募者 1 件の中から 1 件が受賞した。研究推進委員会の審査を経て、理事会承認を経て決定した。

(新規応募分)

①代表研究者：飯沼智久（千葉大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教室）

研究課題名：モバイルアプリを使用したアレルギー疾患の動態調査

(MASK study; Mobile Airways Sentinel Network)

②代表研究者：柳瀬雄輝（広島大学医歯薬保健学研究科皮膚科学）

研究課題名：慢性蕁麻疹における TF 発現細胞と TF 発現マイクロパーティクルの病態評価
マーカーとしての有用性を調べる臨床研究

③代表研究者：正木克宜（慶應義塾大学医学部呼吸器内科）

研究課題名：ガイドラインに準拠した気管支喘息治療スマートフォンアプリケーションの開発
と臨床応用

④代表研究者：平井康太（東海大学医学部附属八王子病院小児科学）

研究課題名：牛乳アレルギーにおける経皮免疫療法の有用性の検討

(継続応募分)

①代表研究者：神尾敬子（九州大学病院呼吸器科）

研究課題名：multiplex PCR を用いた、気管支喘息および慢性閉塞性肺疾患の急性増悪と
human metapneumovirus 感染症との関連性の検討

6. 関連学術団体との連絡及び協力（定款 第 5 条 第 6 号）

- 1) 専門医制度関連：内科系サブスペシャリティ15学会緊急打ち合わせ会議（3月4日）、日本専門医機構開催第1回サブスペシャリティ領域との協議会（3月4日）に出席
- 2) 公益財団法人日本アレルギー協会との連携協力：第67回学術大会共催。同協会主催「アレルギー週間」（2019年2月17日～23日）を後援。
- 3) 内科系学会社会保険連合：アレルギー関連委員会運営団体として社員総会・運営委員会に参加。内保連例会及び呼吸器関連委員会に委員参加。アレルギー関連委員会を開催し、2020年度診療報酬改定に向けての医療技術評価や再評価の提案の調整を行い、関係学会と共同で実施した。
- 4) 日本医学会：評議員会、臨床部会、医学用語委員会等に委員派遣、分科会としての活動に参加。
- 5) アナフィラキシー啓発担当医育成プラン：ファイザー教育助成による講師派遣活動は終了したが、アナフィラキシー啓発サイト(Web)による啓発活動を継続。
- 6) 日本医師会：女性医師支援センター事業に継続して参加。第 67 回学術大会において『日本アレルギー学会イクボス宣言』と題する講演会を日本医師会と共催。
- 7) 日本医療安全調査機構：診療行為に関連した死亡の調査について協力関係学会として、全国7ブロックの統括責任者、ブロックごとに推薦担当者窓口および個別調査部会員を配置し、協力体制をとっている。なお、2019年1月11日付文書により1件の支援要請があり協力した。
本学会は日本医療安全調査機構の社員として、社員会費（医療安全分担金）を拠出した。
- 8) 災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループが中心となり、日本小児アレルギー学会と連携し、大災害の際にアレルギー疾患に関してメールによる相談窓口を設置。

7. 国際的な研究協力と交流の推進（定款 第 5 条 第 7 号）

1) English Session 2018

第 67 回日本アレルギー学会学術大会（2018 年 6 月 22-24 日）における English Session のプログラムを学術大会委員会とともに企画し、開催した。講演者総数：60 名

2) World Allergy Organization(WAO)との活動

・WAO House of Delegates (2018-19)

日本アレルギー学会から3名の代表を登録（国際交流委員会担当理事、委員長、副委員長）

・WAO Board of Directors, 各種Committee Council

本学会会員が参加し、世界のアレルギー研究者の活動に積極的に参加。

President-Elect: 海老澤元宏常務理事

- ・下記の大会に講演者派遣

WAO International Scientific Conference 2018 (WISC2018), Florence, December 6-9, 2018

3) East Asia Allergy Symposium 2018 (EAAS2018)

韓国アレルギー学会の主催で2018年5月10-12日にソウルで開催された。日本から9名の講演者が派遣された。

4) EAACI Congress 2018

EAACI (European Academy of Allergy and Clinical Immunology)の大会 (2018年5月26-30日) がミュンヘンで開催され、日本から4名の講演者、座長が派遣された。

5) Kenji Mano Travel Grant

2018年度受給者は10名。下記の大会で発表をおこなった。

- ・EAACI Congress 2018, Munich, May 26-30, 2018
- ・APAACI and APAPARI 2018 Congress, Bangkok, October 11-14, 2018
- ・AAAAI Annual Meeting 2019, San Francisco, February 22-25, 2019

8. 普及啓発活動 (定款 第5条 第8号)

1) 市民公開講座開催

日時: 2018年7月1日 (日) 14:00~16:00 (Ustreamライブ配信)

会場: ペリエ千葉 7階ペリエホール

テーマ: アレルギー疾患の最新治療 参加者: 209名

2) 学会Webサイトの一般向けコンテンツ

- ・アレルギーに関する用語やアレルギーの解説、病気についての解説・Q&A等の掲載。
- ・本学会専門医の検索サイト掲載 (都道府県、専門、氏名、病院名で検索)。
- ・関連機関からの一般市民向けの公開講座、患者会からの情報等掲載。

9. その他目的を達成するために必要な事業 (定款 第5条 第9号)

・アレルギー免疫療法の推進

アレルギーの標準化整備事業を推進。公募にて決定した協力企業と連携で、診断と治療のための抗原の開発、免疫療法の啓発・普及に取り組んでいる。

スギ花粉症におけるアレルギー免疫療法の手引き(改訂版)発行

・重篤副作用疾患別対応マニュアル

日本病院薬剤師会が厚生労働省から委託され2008年に発行した「重篤副作用疾患別対応マニュアル」を改訂することとなり、「アナフィラキシー・血管性浮腫・NsAIDs不耐症」に関する改訂・編集において、協力した。

・アレルギー情報センター事業 (厚生労働省補助事業)

アレルギーポータルサイトの構築、研修会の開催、研修資料の作成。

・第2回男女共同参画奨励賞

男女共同参画の促進を目的として「男女共同参画奨励賞 (Gender Equality Encouragement Award)」を設け、男女共同参画の理念に基づいた活動をしている学会員、または所属機関を表彰・広報し、さらなる男女共同参画活動の推進を目指している。2017年度、第2回日本アレルギー学会男女共同参画奨励賞は、学会員及びその所属団体を対象に、学会誌及び学会ホームページにて公募し厳正なる選考のうえ、理事会において受賞者を決定した。

受賞者: 清水薫子 (北海道大学病院内科1/男女共同参画推進室)

III. 会議等

理事会・社員総会

1. 第36回常務理事会 (第33期 第5回)

日時: 2018年6月21日 (木) 15:00~16:00

場所: ホテル・ザ・マンハッタン 708

出席: 理事長、常務理事5名、オブザーバー1名

2. 第29回理事会 (第33期 第5回)
 日時: 2018年6月21日 (木) 16:30~18:30
 場所: ホテル・ザ・マンハッタン 2階「ライブラリー」
 出席: 理事長、理事18名、監事1名、顧問2名、陪席1名
3. 第9回社員総会
 日時: 2018年6月22日 (金) 18:45~20:45
 場所: 幕張メッセ 2階 国際会議場 (第2会場)
 出席: 社員296名 (委任状出席109名含)、監事1名、陪席34名
4. 第37回常務理事会 (第33期 第6回)
 日時: 2018年9月27日 (木) 16:00~17:00
 場所: 東京コンベンションホール 中会議室A
 出席: 理事長、常務理事3名、オブザーバー1名
5. 第30回理事会 (第33期 第6回)
 日時: 2018年9月27日 (木) 17:30~19:30
 場所: 東京コンベンションホール 小ホール中会議室
 出席: 理事長、理事15名、監事1名
6. 第38回常務理事会 (第33期 第7回)
 日時: 2018年12月14日 (金) 15:00~16:00
 場所: 大阪国際会議場 12階 1202
 出席: 理事長、常務理事3名、オブザーバー1名
7. 第31回理事会 (第33期 第7回)
 日時: 2018年12月14日 (金) 16:30~18:30
 場所: 大阪国際会議場 12階 1202
 出席: 理事長、理事16名、監事1名、顧問1名、支部長4名
8. 第39回常務理事会 (第33期 第8回)
 日時: 2019年3月15日 (金) 16:00~17:00
 場所: 日本アレルギー学会 会議室
 出席: 理事長、常務理事4名、オブザーバー1名
9. 第32回理事会 (第33期 第8回)
 日時: 2019年3月15日 (金) 17:30~19:30
 場所: 日本アレルギー学会 会議室
 出席: 理事長、理事15名、監事2名

各種委員会

○和文誌「アレルギー」編集委員会 (2018年6月23日、11月2日)

学術情報誌として内容の充実を図り、読者を意識した誌面作りを目指している。(学術大会特別演題演者からの「綜説」、「専門医のためのアレルギー学講座」は総合アレルギー講習会のテーマを基本に2号ずつシリーズを構成、「ガイドラインのワンポイント解説」は常に新しいガイドライン情報を提供する(年8編)、「アレルギー用語解説シリーズ」(専門医を目指す会員が知っておくべきレベルの用語解説を基本とし毎月3編)掲載、「私のアレルギー史」は名誉会員に寄稿を依頼(年1編程度)。

学会 Web サイトでは印刷誌発刊と J-STAGE を利用したオンラインジャーナルを発行し、電子書籍 KaLib にも掲載。メディカルオンラインにて順次、全文収載。

2016年10月よりオンライン電子投稿査読システム (ScholarOne) 運用を開始。

アレルギー編集事務局会議を2018年8月31日、2019年3月1日に開催した。

○英文誌「Allergology International」編集委員会 (2018年6月23日、12月2日)

Allergology International は、出原賢治編集委員長の下、順調に刊行されている。オンラインジャーナルはエルゼビアの Science Direct より発行。冊子は、希望する会員のみ配布(発行1500部)している。2017年インパクト・ファクター(IF)は4.036であった。2018年の投稿総数は302であった。

○広報委員会・Web編集専門部会・啓発活動専門部会合同会議 (2018年6月23日、メール審議2018年7月4日、2019年3月22日、4月2日)

日本アレルギー学会「Webサイト」について、若手医師向けWEBサイト「Allergology Now」を新規に構築するとともに、大幅なサイトリニューアルを行い、2018年6月4日に公開した。

<新規コンテンツ作成: Allergology Now Webサイト>

理事長挨拶動画/学会PRナレーション動画/若手医師・女性医師コメント動画(計11名)/合同会議各委員による「読んでもらいたい記事」作成/総合アレルギー講習会の「実習光景」掲載

<リニューアル>

イベントカレンダー改修/専門医検索機能の強化/本学会発行ガイドライン・刊行物 一括掲載

<メール審議内容>

学会新Webサイト構築に関する協議、若手医師向けWebサイトPRコメント動画製作、第68回学術大会動画配信プログラム検討。

- 総務委員会(2018年4月、2019年3月)
2017年度事業報告書案、2019年度事業計画書案の検討。
- 財務委員会(2018年4月、2019年3月)
2017年度決算書作成、2019年度予算案の検討。
- 定款・細則検討委員会(2019年3月)
理事会運営規則の制定について検討。
- 推薦委員会
研究助成、外部賞の公募情報について、学会Webサイト、学会誌で会員に告知した。
- 専門医制度関係
 - *試験問題作成委員会(2018年7月22日、11月4日)
平成31年度試験問題の作成、試験当日の時間配分、試験監督の選出等について検討した。
 - *教育研修委員会(2018年11月22日)
第55回および第56回専門医認定教育セミナーのプログラム案、講師候補を検討した。
 - *資格審査委員会(2018年12月12日)
平成31年度認定専門医申請者の書類選考を行い、申請者283名全員の受験資格を認めた。
 - *平成31年度認定専門医試験(2019年1月27日)を実施した。
 - *専門医制度・資格審査・試験問題作成・教育研修合同委員会(2019年2月28日)
専門医、指導医、認定医、教育研修施設を認定、更新認定し、2020年度学術大会の付与単位数を決定した。
 - *新専門医制度対策特別委員会(2018年6月23日、9月3日)
J-OSLARを利用しないことを決定、研修手帳の検討を始めた。また、連動研修に関する打ち合わせのための担当者を各基本領域学会より紹介いただいた。
 - *関連団体
内科系サブスペシャリティ15学会緊急打ち合わせ会議(3月4日)、日本専門医機構開催第1回サブスペシャリティ領域との協議会(3月4日)に出席した。
- 国際交流委員会(2018年6月22日、2019年1月21日)
 - *第67回日本アレルギー学会学術大会におけるEnglish Session のプログラムを学術大会委員会と共に企画し、開催した。
 - *World Allergy Organization(WAO)活動への参加
 - *European Academy of Allergy and Clinical Immunology(EAACI)活動への参加
 - *Kenji Mano Travel Grant の運用
- 研究推進委員会(2018年6月24日、12月3日)
会員を対象とした2018年度日本アレルギー学会研究支援プログラムに新規17件、継続1件の応募があり、審査の結果新規4件、継続1件の受賞者を選考した。
- アレルギー・免疫療法委員会(2018年9月8日)
アレルギー免疫療法についての課題やSCIT/SLIT実施医師の学術環境整備を目的とした講習会やシンポジウムの開催を検討。医療技術評価には「アレルギー性鼻炎に対する免疫療法指導管理料」を提案。
ダニアレルギーにおけるアレルギー免疫療法の手引き(改訂版)を発行した。
- 学術大会委員会(2018年6月23日、8月6日、10月9日、2019年2月4日)
学術大会プログラム編成等について会長に提言、不採択演題の最終判定、発表演題の各種問題検討、会長と共に学術大会を総括的に推進。学会主導(学術大会委員会、学会事務局)の学術大会運営に関与する。

○総合アレルギー講習会実行委員会

*第5回総合アレルギー講習会実行委員会（2018年6月22日、11月29日、2019年1月28日）

第5回総合アレルギー講習会の開催概要、講義、実習プログラム等の内容の検討、当日の運営の確認。

*第6回総合アレルギー講習会実行委員会（2018年10月3日、2019年1月28日、3月18日）

第6回総合アレルギー講習会の運営会社選定、開催概要、運営方法、プログラム内容の検討、座長・講師等の候補検討。

○学術賞選考委員会（2018年11月27日）

2018年度海外研究留学助成金応募者の募集、選考を行い、受賞候補者3名を選出。

第15回学術大会賞応募者の募集、選考を行い、受賞候補者5名を選出。

○アレルギー疾患ガイドライン委員会（2018年6月21日、12月14日）

「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018」、「アレルギー総合ガイドライン2019」の発行。

○医療問題検討委員会（2018年6月23日）

「医療用ヘパリン類似物質製剤の美容目的処方等に関連する問題」について検討

○診療報酬検討委員会（2018年6月23日、11月14日）

2020年度診療報酬改定 提案書提出に向けて、学会内スケジュール・提案募集についての検討、第一次提案書案の検討を行った。また、この提案書提出に向けて関連学会とも調整を行うとともに、内科系学会社会保険連合会(内保連)の活動に参加した。

○用語委員会（2018年6月22日 メール審議：2018年12月28日、2019年4月1日）

アレルギー学用語集（改訂版）の発刊に向けて内容、役割分担、作業手順の検討を行い、作業を開始。

○男女共同参画委員会（2018年6月24日 メール審議：11月13日）

第67回学術大会において医師支援セミナーを開催した。第3回男女共同参画奨励賞において受賞者を選考。

[特別委員会]

○Anaphylaxis 対策特別委員会（2018年6月24日、9月7日）

1) 日本アレルギー学会教育研修施設におけるアナフィラキシー治療症例の多施設集積研究の分析

2) アレルギー啓発サイトによる情報の発信

3) 重篤副作用疾患別マニュアルアナフィラキシー編の改訂作業の実施

○アレルギー疾患対策基本法特別委員会（2018年8月24日）

アレルギー疾患対策基本法に則した施策の検討、厚生労働省助成事業等の実施。

○災害時の対応、支援活動に関するワーキンググループ

日本小児アレルギー学会と連携し、大災害の際アレルギー疾患に関してメールによる相談窓口を設置。

○臨床アレルギー講習会ワーキンググループ

第1回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2018年6月22日、メール審議：5月24日）

第1回臨床アレルギー講習会の開催概要、運営方法、当日の運営の確認。

第2回臨床アレルギー講習会ワーキンググループ（2018年10月26日、2019年2月8日）

第2回臨床アレルギー講習会の運営会社選定、会場選定、開催概要、運営方法の検討。

○会計年度変更検討ワーキンググループ（2019年2月19日）

会計年度変更に係る課題等について検討した。

○会員の懲罰に係る調査委員会（2019年2月12日）

行政処分を受けた会員の懲罰に関する件について検討した。

○選挙管理委員会（2018年8月24日、2019年1月18日、3月22日）

2018年度代議員および役員選挙の開票を実施、当選者を確定した。